

2. J-Debit 導入事例の紹介

今号では、金融機関様、加盟店様、情報処理センター様が一体となりJ-Debit普及活動を行っている、地域の取り組み事例を掲載します。

デビットカード静岡県連絡会様

平成13年5月10日、静岡県にて全国初の全県ベース多業種に渡るJ-Debit普及促進組織「デビットカード静岡県連絡会」が発足しました。会の目的は「デビットカードの利用促進、加盟店舗数の拡大、顧客の利便性向上と関連企業の売り上げ増加」。

約半年の準備期間を経て会の発足に至るまでの状況及び、その後の活動状況を、同会の幹事会社である株式会社静鉄情報センターの斉藤徹司様に伺いました。

■ 伸び悩み解消のために

J-Debitが全国的にスタートした平成12年当時、静岡県内でも金融機関、情報処理センター、加盟店各社がサービスを開始していました。しかしながら、当初、静岡県内でのJ-Debit認知度は低かったため、利用者数が低迷。デビットカード普及による利益を見込んで先行投資をされていた静鉄情報センター様は、「利用が伸び悩み、それに連動するかのように加盟店数の増加も伸び悩んだ」状況を目の当たりにし、逸早く打開に向けて検討を始められました。

間もなく同社は、金融機関の立場でサービスを開始されていた静岡銀行様に「これからのJ-Debit普及方法について相談する」という行動を起こします。「デビットカードの利用促進、加盟店舗数の拡大のためには、盛大なPR活動が不可欠。それは、1社や1業種だけでは限界がある」という共通認識のもと、何度かの話合いの結果「県内のデビットカードに関係する業種・業者に声をかけて一緒に普及活動をしたらどうか」という案が浮上したそうです。

とはいえ、もともと全県多業種によるつながりはなく、同業者に至っては、競争相手という関係です。デビットカードの利用促進により共に利益が見込まれても、「情報センターの弊社及び金融機関の静岡銀行様では、同一業種からの反発が考えられる」という懸念から、第三者の立場にある「西日本電信電話（NTT西日本）静岡支店様に中心になって頂き」、促進組織である「デビットカード静岡県連絡会」を立ち上げられました。

Pick up 会発足準備

期 間：約6ヶ月間

決定事項：会則案、会費、活動案、事務局、会の名称など

主な活動

- ① 会則の原案・活動案を作成
- ② 県内の早期に導入した加盟店及び機器メーカーに構想説明。(H12/10)
- ③ 県内の金融機関、情報処理センター、大手加盟店、端末メーカー約60社へ「デビットカードの利用状況、会の必要性について」のアンケートを郵送。(H12/11～H13/1)
- ④ アンケート回収・分析、会発足説明会の開催案内を送付。
- ⑤ 説明会開催。出席46社。(H13/2)
- ⑥ デビットカード静岡県連絡会発足会開催(H13/5)

幹 事：NTT西日本(株)静岡支店、(株)静岡銀行、(株)静鉄情報センター

会 員：26社(H13.5.10現在)

<「デビットカード」静岡県連絡会> 加盟金融機関の告知>

